

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2011年3月★第92号

冬の渡り鳥を見に行こう！～ガンのねぐら入り～



呉地さんの案内で伊豆沼を観察

日時：1月29日（土）
11:30～19:00
場所：化女沼、伊豆沼内沼
講師：池内俊雄氏
（雁の里親友の会、エコパル化女沼）
呉地正行氏
（日本雁を保護する会会長、MELON理事）



池内さんから渡り鳥についてカードで解説

毎年開催している渡り鳥観察会ですが、今年は昨年より多くの方々にご参加いただきました。間近で見る、大空を羽ばたく鳥の群れの雄大さに、参加者が感嘆の思いで眺めている光景はとても印象的でした。

MELONとは 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - 年5回の情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1. 「冬の渡り鳥を見に行こう！」レポート
- P2. 「キルト作りカフェ」レポート
法人会員への訪問取材始めました
- P3. 毎月開催！ MELONcafe プチ講座
「仙台89ERSみんなでリメイク」レポート
- P4. 手動式生ごみ処理機の実験中
かんきょう読み聞かせ
- P5. 協同組合のコーナー
50人リレートーク 早坂みどりさん
- P6-7. ストップ温暖化センターみやぎ通信
- P8. 投稿欄、イベント一覧、編集後記

「キルト作りカフェ～ドイツのエコな暮らし～」レポート

日時：1月15日（土）14:00～16:00

会場：旅カフェ サマルカンド

講師：森川明子氏（キルト作家）

参加者：15名



ドイツのお話しに興味津々

環境先進国のドイツでは、日々の暮らしの中にエコが溶け込んでいます。そんなドイツの暮らしを体験し、キルト作家として活躍している森川明子さんを講師に招き、講座を行いました。

キルトは、いろんな生地を自由に切って縫い合わせて作る手芸です。今回参加者には、はかなくなった靴下とシャツを持参してもらい、花などのキルト作りを体験し

ました。初めての作業にデザインを悩んでいた方もいましたが、型のない自由な発想で靴下が変身していく様子に驚き、楽しんでいました。「家の中のいろんなものがまだ使えるんだと気づきました」との感想もあり、物への見方が変わるきっかけになったようです。

森川さんのお話しの中では、ドイツの驚きのエコが盛りだくさんでした。例えば、道端に出してある家具などの粗大ごみは、使えると思えば持ち帰るのが普通なのだそうです。森川さん自身も、その方法でいくつかの家具をそろえたとのこと。また、フリーマーケットやガレージセールも盛んで、お互いに物を譲り合い交換し合う暮らしが根付いています。中でも驚いたエピソードは、ドイツのパレードです。たくさんの人が着飾り賑やかにパレードが行われる一大イベントで観光客も大勢観覧する中、そのパレードの最後に歩くのは、なんと清掃車と清掃員。パレードの余韻をきれいに掃除していくそうです。

ドイツのお話しとキルトとケーキを楽しみ、和やかで和気あいあいとした講座となりました。



各自の作品をご紹介。
森川さんからアドバイスも

法人会員への訪問取材始めました

MELONには100を超える法人が会員となっていますが、実際に活動の中で情報を交換している法人もあれば、具体的にはお話を聞いたことのない法人もあります。そこで、情報センターでは、改めてMELONの法人会員のみなさんからお話を伺うべく、会員になったきっかけや、取り組んでいる取り組み、また業界ならではの取り組みなどについて取材を始めました。

最初の取材先として1月に訪れたのは、東北森永乳業株式会社さんの仙台工場です。学生環境サークルRNECSのみなさんと伺うと、代表取締役専務でMELONの評議員でもある山下定志さんが対応してくださいました。

仙台工場は3年前にできた新しい工場です。水・電気・ガス・廃棄物の観点から無駄の削減に取り組み、「エコ・アクション21」にも登録しています。食品を扱う業種のため、管理も厳しく、そのため洗浄などに水を多く使い排水しますが、自社の設備で浄化を行っています。その他にもさまざまなお話しと、工場も見学させていただきました。なかなか聞けないお話しと工場の様子に学生のみなさんも良い経験になったようです。

詳しい取材の様子はウェブサイトで紹介していますので、ぜひご覧ください。

情報センターでは今後も随時法人会員の取材を行います。これからもお楽しみに！



緊張しながらの東北森永乳業株式会社の取材

エコ・アクション21とは、中小企業、学校、公共機関などに対して、「環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告する」ための方法として、環境省が策定した事業者のための認証・登録制度です。

毎月開催！ MELONcafe プチ講座

1月22日（土）「保温調理で簡単プリン作り」
2月11日（金・祝）「米粉で簡単♪ スイーツ作り」



1月：保温調理で簡単プリン作り 2月：米粉で簡単♪ スイーツ作り

毎月、「オシャレですぐにできるエコ」をテーマにさまざまなエコ体験講座を行っています。

1月は、寒い冬におススメの「保温調理で簡単プリン作り」を行いました。この保温調理では、ある程度沸騰させてから、コンロからおろし、厚手のバスタオルや毛布で鍋ごと包んで余熱で具材に火を通します。エネルギーと光熱費の節約になり、また難しい火の調節も不要です。参加者は「家にある古い毛布などを利用して、手軽に保温調理できるので早速実践してみようか」と話していました。

2月は、今大注目の「米粉」を使った「マフィン作り」講座を行いました。大人気であまりの参加申込者の多さに急きょ第2回目を用意したほどでした。

最近の小麦の価格高騰や食料自給率対策として、「お

米」が見直されています。小麦粉の代わりに、お菓子作りやパン作りに幅広く使える「米粉」。もちもちした食感に人気があり、小麦アレルギーの方だけではなく、最近ではいろいろな料理に使われ、その魅力に注目が集まっています。今回は宮城県農業協同組合中央会さんから宮城県産の米粉をご提供いただきました。材料の粉は米粉のみを使用し、国内産のりんごとくるみを入れました。

参加者から「米粉で作ったマフィンがすごくおいしくて感動しました」などと感想があり、この講座をきっかけにご家庭で気軽に「米粉」を使っていたけるとうれしいです。

MELONcafeではこのような講座を一緒に考えてくれる方を大募集しています。プチ講座を企画して運営してみたいという方は、事務局までお声がけください。お待ちしております！



米粉の講座は大人気でした

次回：3月19日（土） 13:30～
「空きビンのリメイク♪ ガラスエッチング」
場所：MELON事務局

「仙台89ERS みんなでリメイク ～出張MELONcafe マイはし袋編～」

日時：2月27日（日）12:40～13:20
場所：仙台市体育館 特設ブースにて

仙台89ERSを応援する多くの観客に日頃の暮らしの中で意識してごみを出さない工夫（マイはしを使い、割りばしを使わないようにする）やリサイクルをする意義について考え、エコを体感してもらうためにブースを出展しました。

この企画はMELONの部会の「エコシティ仙台プロデュースプロジェクト」が起案し、「MELONcafe」と協力して開催しました。チケットを持った観客先着10名



マイはし袋を作りました！

を対象に、家にある使わない布や応援で使用している手ぬぐいを持ってくるように呼びかけ「マイはし袋」を作りました。

あまり針を使ったことがない小学生も参加し、

苦労はしていましたが「自分だけのマイはし袋ができて良かった」との感想がありました。

実は、体育館では毎試合大量の割りばしが回収されています。仙台89ERSさんではこの割りばしを紙の原料としてリサイクルしています。また割りばしをリサイクルするためにはどうしても運搬や製造過程でCO₂が出てしまいます。割り箸を使う量が減ればもちろん、割りばしの原料となる木が伐採される量も少なくなります。

今回、ブースで協力した「MELONcafe」ですが、もちろん「マイはし袋作り」も講座として行っています。

みなさんもオリジナルの「マイはし袋」を作って、マイはしを持ってみませんか？ 作り方はMELONのホームページの「handmadeエコグッズ」に記載されています。

<エコシティ仙台企画ミーティング メンバー募集!!>

エコシティ仙台プロジェクトプロデュースでは在仙3球団のごみ減量や環境活動をしています。この活動に参加していただけるメンバーを募集しています。参加資格は①MELON会員限定②エコシティ仙台の活動を理解していただける方です。参加ご希望の方はMELON事務局の菅田までご連絡ください！

(注)観戦はできませんのでご了承下さい。

手動式生ごみ処理機の実験中

ごみ減量プロジェクトでは、「手動式生ごみ処理機実験」を2月1日より開始しました。「手動式生ごみ処理機」とは電気を使わず、手でハンドルを回して生ごみをかくはんし、発酵させるもので、家庭生ごみ減量の選択肢を広げることになります。

1月29日(土)にMELON事務局にて10人の参加者で第1回モニター会議を開催し、実験の手順を確認しました。モニターは最初の1ヶ月間は処理機に添付されてきた資材をそのままの使い方を使い、「実験記録シート」に記録します。そして、実験期間中毎月1回「実験記録シート」を事務局に提出して状況を報告します。最初の

2ヶ月間は生ごみ投入時に「堆肥の温度」と「投入量」を記入し、気付いたことをメモしていきます。

実験機種は「生ごみゼロ君」(環境保全サービス株式会社製)3台、「エコロポスト」(株式会社 ムロコーポレーション製)2台、「ダスクリンくるくるⅡ型」(パネフリ工業株式会社製)2台の3種です。それぞれメーカーさんに協力いただいたものを使用します。

実験を開始した2月は、年間で一番寒い時期なので発酵が進まず、実験参加者は苦労していますが、これから使い方の工夫や情報交換をしながら進めていきます。



生ごみゼロ君



ダスクリンくるくるⅡ型



エコロポスト



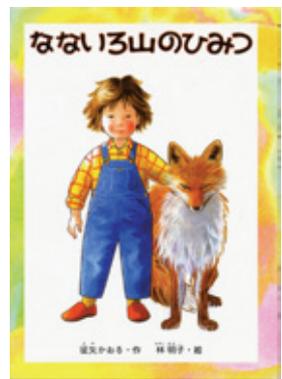
さちは「山おんな」になった

テレビの中は役者さんが頭を下げていたと思ったら、今度はお相撲さんが行ったり来たり。ところがいま、農作物の輸出入をめぐる日本の農家がたいへん困ったことになっています。でも、温泉宿の食事に「おいしいー！」と大騒ぎをよそおうだけで、その食材を担う農業に関わることが、真面目に話されていません。日本の経済関連の数字のどこに何パーセントを占めるのかという話だけで将来が決められようとしていそうです。たくさん国のお金を使い、たくさんの犠牲を積み重ねたイラクへの『貢献』がその後の議論も検証もなく、今日も暮れようとしているのと同じなのではないでしょうか。

征矢(そや) かおる・作、林明子・絵「なないろ山」

山のひみつ」(福音書館、2002年)を読みましょうか。

どうも「なないろ山」の様子がへんだ。さちという女の子が、おばあちゃんの代わりに山に行くことになりました。さちはじいさんぎつねに会うためにヤマネに案内されて「なないろ山」



を登っていきます。だるまふくろうがさちを襲います。山の水がなくなったのも、どんぐりがとれなくなったのもおまへのせいだと。さちはこの「なないろ山」を救うことができるのでしょうか。

この物語を支えているのは、まぎれもなく、山はわたしたちの「いのち」で、その「いのち」が危機に瀕しているという緊迫感なのでしょう。

農業のことも、数字を高くかかげて声高に議論するのではなく、わたしたちは何を守るのかということをしかりと深く考えていく必要があります。読んだかたもいるでしょう「こんとあき」と同じ林明子さんの絵。主人公のさちがたくましく見えます。テレビを離れてお子さんといっしょに味わって下さいね。

各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

「生物多様性フォーラム～みんなでつなげよういろんないのち～」参加者募集

生きものつながり「生物多様性」について触れよう・感じよう・親しまおう!!

日時：4月4日（月）10:00～13:00

会場：みやぎ生協文化会館ウイズ（仙台市泉区八乙女4-2-2）

参加費：無料 託児あり（要申し込み、2歳以上）

◆学習会（10:30～12:00）テーマ「テーブル上の生物多様性」

講師 冬木勝仁さん（東北大学農学部大学院農学研究科准教授、MELON理事）

◆展示・体験コーナー（10:00～13:00）

パネル、商品など展示、試食もあり

◆ワークショップ（10:30～12:00）

「森の木でアニマルクラフトを作ろう！」

小学生対象（要申し込み）定員30名（多数の場合抽選）

問い合わせ・申し込み先

みやぎ生協生活文化部くらしの活動事務局

〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

TEL：022-218-3880 FAX：022-218-3663

e-mail：sn.mkankyok@todock.jp



手作りのアニマルクラフト



MELON20周年をめざせ！ 50人リレートーク



第35人目の執筆者

早坂みどりさん

（特定非営利活動法人森林との共生を考える会 理事）

今年は国連の定める国際森林年です。森林の役割や持続可能な森林経営や保全の重要性を広めることが目的で、日本の国内テーマは「森を歩く」です。日本は国土の約7割が森林に覆われている緑豊かな国です。持続可能な森林の姿を維持するために、先人が守ってきた木を伐って使い植林するというサイクルを持続することです。しかし、戦後植林し育てられてきたスギやヒノキの人工林が、木材価格の低迷等により山にお金が回らず、森林が荒廃していることはあまり知られていません。森林の荒廃を防ぐためにみんなで木材（国産材）を使いましょう。20年以上も前から木材の価格が上がらず、むしろ下がっています。木材は決して高いものではないと

いうことを知ってほしいと思います。

昨年10月、「公共建築物等における木材の利用促進に関する法律」が施行されました。公共の学校や幼稚園などが木造で作られることを期待したいと思います。木造建築物の構造材やマンション等の床や壁などに国産材を使うことは、日本の森林をも豊かにすることに繋がっています。

私の本業は住宅を設計し、国産材を使い直営工事で家を建てるのが仕事です。木材を知らないと木造住宅の設計や施工はできません。木のことを学んでいくと、森林との共生を考える会の活動に行きつきました。植林や間伐などの森林整備作業や木（木材）の利用や特性などを人々に広める活動をNPO法人森林との共生を考える会は行っています。

… 次号執筆者紹介 …

門傳 仁さん
（農業・林業）



ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.49

『WARMBIZ(ウォームビズ)～『家』から温暖化対策を考える～』開催！

日時：1月31日（月） 16:00～18:30
 場所：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
 来場者：101名
 内容：①ウォームビズと住宅の高断熱化について
 環境省東北地方環境事務所 向田健太郎氏
 ②講演：古い家でもあきらめないで
 一級建築士 安井妙子氏
 ③冬に使えるエコグッズの紹介
 株式会社藤崎 販売促進担当 高橋由佳氏
 ④ウォームビズクイズ賞品抽選会
 協賛：宮城県百貨店協会、みやぎ生協



講師 安井妙子氏

「ウォームビズ」とは？それは、いわばクールビズの秋冬版で、温暖化防止の為に暖房に頼りすぎず、冬を快適に過ごすための取り組みです。

寒い冬になると、暖房によって光熱費のみならず二酸化炭素排出量も増加します。そこで、暖房の欠かせない宮城でウォームビズを広めようと今回のイベントを行いました。

部屋間の温度差が激しく、暖かい部屋から一歩出るのもおっくう…みなさんはこんな家に住んでいませんか？

古民家を断熱性の高い快適な家へ修復を手掛ける一級建築士の安井妙子さんを招いた講演では、家の断熱による省エネ効果などについて分かりやすくお話いただきました。安井さんによると、断熱された家とは魔法瓶のような

もの。断熱性の高い家へ改修したことにより部屋間の温度差が6℃から1℃へ減少したという実例も紹介されました。古い家でも断熱性に配慮した家へ修復することで快適な家へ生まれ変わることが出来るという事が分かり、参加者からも「古い物を大事にする事の大切さが伝わる講演でためになった」との声もありました。

その他、すぐに取り組み始めるウォームビズの提案として、株式会社藤崎の高橋さんから「衣」「食」「住」の面から冬に使えるエコグッズの紹介がありました。特に今年は「はらまき」が大人気の様です。会場には実物も展示され今までのイメージを一新するカラフルな色合いやデザインがあり、とてもおしゃれでした。また、お湯に溶かして飲んだり、ジャムとしてトーストに塗ったりと味わい方が豊富な「生姜茶」は、体を温める効果があるとの事。おしゃれをしたり、温かいものを食べてウォームビズに取り組むというのも、楽しそうですね！

最後の賞品抽選会では、ウォームビズクイズの正解者の中から10名の方に「生姜茶」などのエコグッズをプレゼントしました。ウォームビズの取り組み方はさまざまです。みなさんもぜひ楽しみながらウォームビズに取り組んでみてはいかがでしょうか。環境省から温暖化の現状と課題についてのお話もありました。



環境省から温暖化の現状と課題についてのお話もありました。

温暖化ってどんなこと？ 温暖化を防止するために！～推進員の活動～

参加した推進員（五十音順）

【みやぎ・うちエコ診断】

太田達男氏、太田美智子氏、菅野喜美恵氏、高橋信行氏

【パネル・グッズ展示】

伊藤道子氏、菅野剛夫氏、澤田裕子氏、庄子良二氏

今回のイベントでは8名の地球温暖化防止活動推進員の皆さんが啓発活動を行いました。

地球温暖化についてのパネルの説明や環境学習教材「エネルギーバッグ」を使って日本人一人が一日に使うエネルギー量を体感してもらったり、「みやぎ・うちエコ診断」という家庭からのCO₂排出量と効果的な対策を提案したり…わかりやすい説明と親しみやすい推進員

の雰囲気、「自分の家でできるエコがわかった！」「知らないうちにこんなにエネルギーを使っているんだね」と、来場者の方々は楽しみながら環境について考えていたようです。



来場者と対話しながら温暖化を考えます



みやぎ・うちエコ診断

地域から低炭素な社会を！ 「ストップ温暖化大賞低炭素杯」

開催日：2月5、6日（土日）
 会場：東京大学 安田講堂、山上会館
 内容：①参加団体によるプレゼンテーション
 ②分科会
 「伝える力、広げる力」【コミュニケーション力】
 「地域おこしと企業」【地域活性化】
 ③記念シンポジウム
 「エコで快適な住まいで低炭素社会を実現しよう！」
 ④表彰式

昨年まで3カ年行われた「ストップ温暖化一村一品大作戦全国大会」の流れを継いで「ストップ温暖化大賞低炭素杯～低炭素地域づくり全国フォーラム～」が開催され、全国各地から集まった47件の地球温暖化防止活動の発表が行われました。



(中央) 山崎義幸氏
 (左右) ミネ幼稚園の先生方

会場の東京大学安田講堂は有形文化財に登録されています。歴史を感じる重厚な雰囲気の中、宮城県代表である推進員の山崎義幸さんは家庭の取り組みから座禅で通っていた長

泉寺、そして付属のミネ幼稚園での活動に広がったことを堂々と発表し、優秀賞を受賞！

発表の最後には笑顔で大きく手を振り、大勢の観客にも笑顔が広まっていました。



分科会での活発な意見・情報交換

シンポジウムでは東京大学総長顧問の小宮山宏さんから80%ものエネルギー消費量削減を達成した自宅、通称「小宮山エコハウス」の紹介とともに「日本は南北に長い国なので地域によってどのような建物が快適かは異なる。地域を良くするために地域の人々が立ち上がることは非常に大事！」と激励の言葉。パネリストの一人、女優の菊川怜さんは「やりがい、喜びのある社会を作るためにグリーンイノベーションは必須」とコメントしていました。

低炭素杯の目的の一つは「学びあい、連携の環を広げる」こと。さまざまな取り組みがつながり、一歩ずつ低炭素社会に近づいていくことが楽しみです。

環境学習に取り組む小学校教員の交流会 『聞こう！ 語ろう！ 環境学習のゲンバ！』開催！

日時：1月23日（日）13:30～16:30
 内容：①アイスブレイク
 ②聞こう！編 ～事例紹介～
 「今だから言える、成功に至る山あり谷あり。」
 パネリスト：工藤隆継氏
 （青森県南部町立名久井小学校校長）
 久保慶喜氏
 （青森県南部町立名久井小学校教諭）
 ③語ろう！編 ～ワークショップ～
 「語り合おう！ あなたの思い、わたしの思い。」

宮城県内で環境学習に取り組む小学校の先生を対象に、環境学習を行う上での悩みを相談しあう仲間作りを目的とした交流会を開催しました。事例紹介のパネリストとして招いたのは、青森県南部町立名久井小学校の工藤隆継校長先生、久保慶喜先生です。工藤先生は、前任校の五戸町立南小学校で全校一丸となって環境学習を行い、その取り組みが平成19年度「ストップ温暖化『一村一品』大作戦」全国大会で特別賞を受賞しました。また、現任校の名久井小学校ではエネルギー教育実践パイロット校として久保先生が担当で全学年で環境学習に取り組んでいます。これまでの経験から工藤先生が特に重要だと仰っていたのは、学校や地域全体で取り組むには先導



パネリストの工藤隆継氏（左）、
 久保慶喜氏（右）



ワークショップでは同じ悩みを
 共有しました。

するリーダーが必要であること、そのリーダー育成が困難であること、何年も継続して行っていくことの難しさについてでした。参加した先生方からは、「実践事例を見たのは初めて」や「未経験の視点だった」などの声があり、経験者の成功事例に熱心に耳を傾けていました。

また、ワークショップでは、それぞれが抱える悩みを出し合い全員で悩みを共有しました。「カリキュラムの組み立てはどうすれば？」や「地域との連携の仕方」などのさまざまな悩みに対し、意見やアドバイスが活発に飛び交う時間となりました。参加した先生からは「新しい視点ができた」と、解決へのヒントが得られたようです。

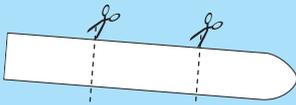
92 号の投稿テーマ

「最近私の周りではやっているエコ」

タイトル：ノーテレビデー
 子供たちの学校行事に便乗してウチはノーテレビ・ノーゲーム・ノーパソコン、ノーお酒デーを始めました。週二回、家族でゆっくりと本でも読みながら地球環境だけでなく体内環境も浄化しましょうかね～？
 ペンネーム「おぼっち」

最近、無農薬野菜をいただくようになりました。でも商品にならないような未熟なものや逆に大きいものなどさまざま。無農薬の安心感もあり、カブも大根も人参も山芋も根菜類はほとんど皮をむかず調理しています。何より皮をむくのがめんどうなのですが…
 ペンネーム「@」

紙製のフランスパンの袋を、3つに切り分けて、空いた口を片方閉じ、3つの袋にしています。おにぎりを入れるのにちょうどいい。
 捨てる前にもうひとかせぎ。



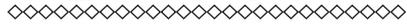
ペンネーム「グレース」

- ・マイボトル
 - ・出るゴミを減らすために、細かく切り刻んだり、圧縮させる
 - ・マイ箸
 - ・お昼ご飯を買うのではなく、お弁当を作ってくる
 - ・お弁当の中に敷く銀紙みたいなものを何回も洗って使えるものにする
 - ・コンセント抜き、待機電力をなくす
 - ・公共機関の利用
 - ・エコバッグ
 - ・エコな商品を買う
 - ・簡易包装のものを使うようにする
- ペンネーム「えり子」

投稿募集

93号テーマ

「新生活で始めたエコ」



新しい学校や新しい会社で、新生活を始めた方も多はず。そんな新生活をきっかけに始めたエコを教えてください。

投稿方法

■投稿文とペンネームを明記し、メール・FAX・ハガキ等にてMELONへお寄せください。

ケータイからの投稿はQRコードからご覧いただくが簡単です。



■締め切り：5月10日（火）

編集後記

- 事務所の窓辺に数種類の植物の鉢植えがあります。お世話をしていたら「サボテンの花」が咲いていてちょっと嬉しくなりました♪（菅田）
- 春は別れの季節ですね。約8ヶ月がんばってくれたアルバイトさんが2月で卒業・就職のため退職。寂しいですが今後の活躍を楽しみにしています！（江刺家）
- 寒い冬は、我が家の湯たんぽは大活躍です。使用後はもちろん、食器を洗う時やガーデニングに使用しています。（三浦）
- 昨年の春から畑を借りて、野菜作り一年生をしています。除草のときに茎を切り、夏の高温で葉っぱが溶け、農家の苦勞を感じた一年間だった。来春こそはリベンジしたい。（篠原）

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。
 ※会員以外の方も参加できます。

3/11 (金)	ごみ減量プロジェクト 例会
3/12 (土)	第15回 MELON 環境市民講座 『親子でエコ・クッキング～卒業・入学のお祝いに～』 エコシティ仙台企画ミーティング（仮称）
3/16 (水)	エコシティ仙台プロデュースプロジェクト検討会議
3/19 (土)	MELONcafe プチ講座 『空ビンをリメイク♪ ガラスエッチング』
3/26 (土)	まちなか eco マルシェ
4/9 (土)	水部会 例会
4/12 (火)	食部会 例会
4/23 (土)	まちなか eco マルシェ
4/29	2011 年度第1回 MELON 環境市民講座 (金・祝) 『春の森で遊ぼう！ in 川崎町貸森林』
5/7 (土)	水部会 例会
5/28 (土)	まちなか eco マルシェ

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

第16回 MELON会員と市民のつどい開催決定！
 6月25日（土）13:30～（予定）

参加無料
 入場自由

場所：せんだいメディアテーク1階オープンスクエア
 会員を対象とする「維持会員総会」と、一般の方も気軽に楽しめる体験ブースや講演会などを行います。MELONの一大イベント、ぜひご来場ください。

■維持会員総会って？

MELONの活動を支えてくれている会員のみなさんにMELONの運営や活動の報告をする会です。今年MELONは財団法人から「公益財団法人」となります。生まれ変わるMELONについてご報告します。

当日ボランティアスタッフ募集中
 お問い合わせはMELON事務局まで

会員状況

1,011名

- 法人 103
- 任意団体 15
- 個人 893

2011年2月18日現在

ボランティアポイントカードをご活用ください

部会・プロジェクトの例会、イベントにボランティア参加する際にボランティアポイントカードをお持ちください。1回の参加で1スタンプを捺印します。5つ貯まるとMELON協力商品券（1,000円分）と交換できます。カードを紛失した方は事務局までご連絡いただければ再発行いたします。



MELON 協力商品券を利用しましょう。

「MELON 協力商品券」を積極的にご利用ください。利用額の一部がMELONに寄附され、皆さんの日頃のお買い物行動から環境を守る活動に役立つ仕組みが作られています。

発行元 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5710

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL http://www.melon.or.jp/melon/



この印刷物は、輸送マイルージ低減によるCO₂削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。